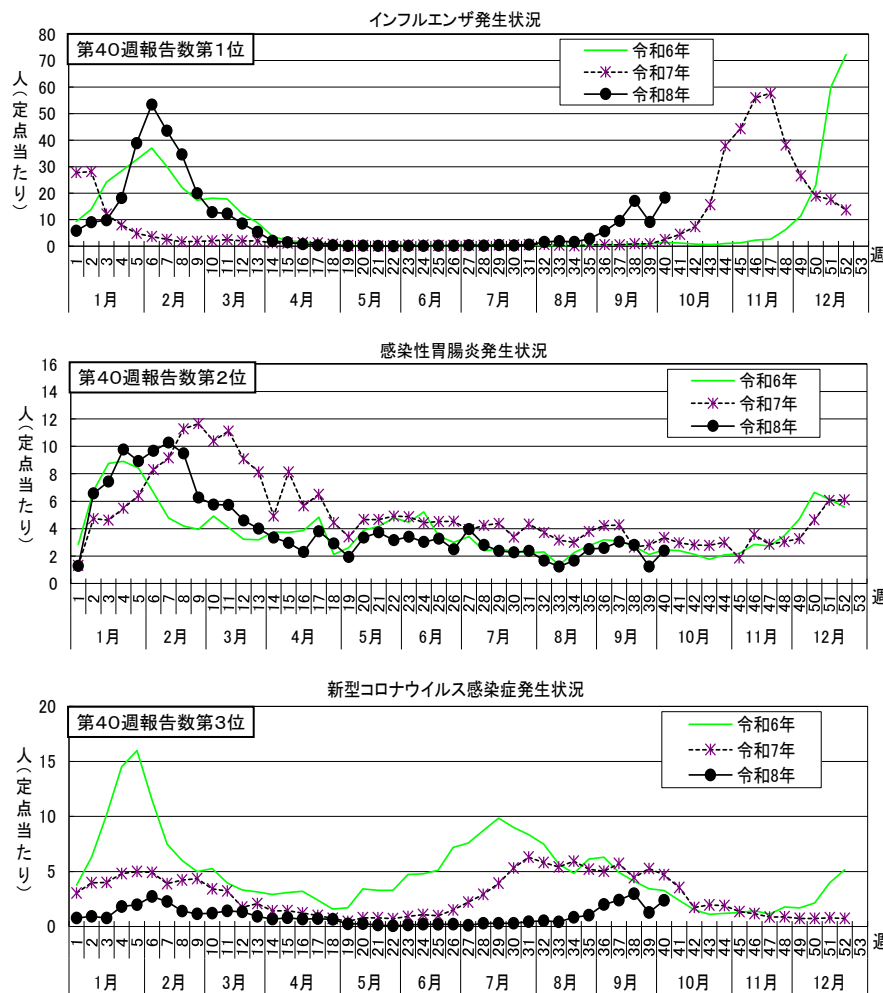
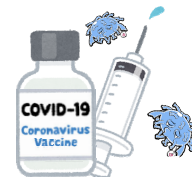


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和8年9月28日（月）～令和8年10月4日（日）〔令和8年第40週〕の感染症発生状況

第40週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）新型コロナウイルス感染症でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は18.34人と前週（9.08人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.41人と前週（1.24人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は2.36人と前週（1.26人）から横ばいです。

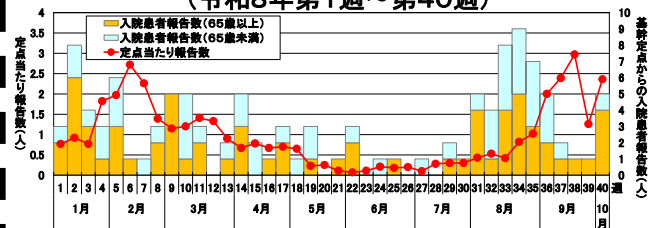


高齢者対象の新型コロナワクチンの定期接種を開始！

川崎市における新型コロナウイルス感染症の令和8年の定点当たり報告数は、8月中旬から徐々に増加しています。第40週（9月28日～10月4日）は2.36人と急な増加はみられていませんが、基幹定点医療機関からは継続的に入院患者が報告されています。令和8年に報告された入院患者のうち65歳以上が56.8%を占め、第40週も5件中4件が65歳以上でした。

川崎市では、令和8年10月1日から市内に住民登録のある高齢者等を対象に、新型コロナワクチンの定期予防接種を開始しました。重症化を防ぐために、対象の方は川崎市のホームページ等で詳細を確認の上、早めの接種を御検討ください。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の
定点当たり報告数及び基幹定点からの入院患者報告数
（令和8年第1週～第40週）



新型コロナウイルス感染症にかかった後、一部の方で長引く症状（り患後症状）があることがわかってきました。いまだ不明な点が多いですが、海外においては、新型コロナワクチンによるり患後症状の予防効果を示唆する報告が増えています。

川崎市における高齢者を対象とした 新型コロナワクチンの定期予防接種

◆実施期間

令和8年10月1日（木）～
令和9年2月28日（日）

◆対象者

川崎市内に住民登録のある方で、次の①又は②に該当する方

- ①接種日に65歳以上の方
- ②接種日に60歳～64歳の方で
 - ・心臓、腎臓、呼吸器の機能障害（障害1級程度）を有する方
 - ・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害（障害1級程度）を有する方

◆自己負担金

7,000円（税込）

※詳細は川崎市ホームページをご覧ください。